

## <工事の進捗状況>

### <<今月号の主な内容>>

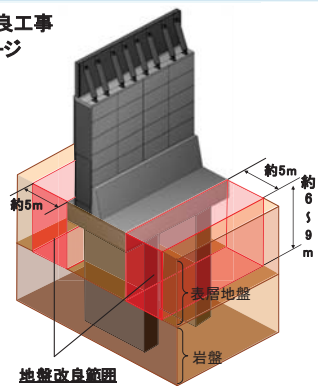
- 防波壁設置工事: 5号機周辺の防波壁地盤改良工事を開始しました。(地震対策)
  - 建屋ベント設備設置工事: 3号機建屋ベント設備の吸排気パネル部分の工事を開始しました。(水素爆発防止対策)
  - 高台工事: 海拔30mの地下水槽部分のコンクリート打設工事が完了しました。(水源の多様化)
- ### <訓練等のソフト対策>
- 非常用ディーゼル発電機の燃料移送訓練を実施しました。
  - 携帯電話メール(モバイルi-Call)を用いた、災害対策要員の一齐呼出訓練を実施しました。
- ### <その他>
- 静岡県および御前崎市による津波対策工事の点検および確認を受けました。

## <<工事の進捗状況>>

### ■防波壁設置工事

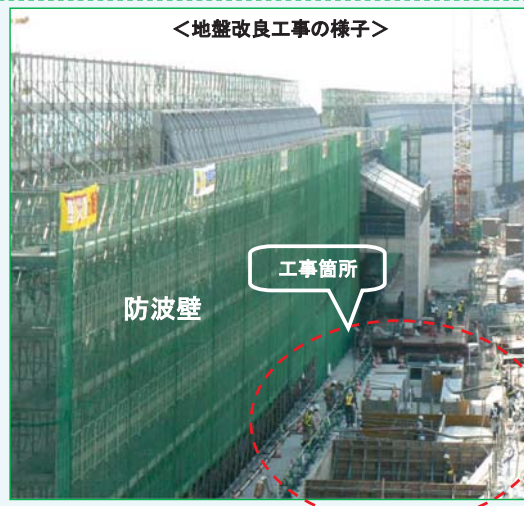
- ◆防波壁の嵩上げ工事・下部補強工事を進めています。
- ◆4月10日から、5号機周辺の防波壁地盤改良工事を開始しました。

地盤改良工事のイメージ



地盤改良範囲  
セメント系材料により  
表層地盤を改良します。

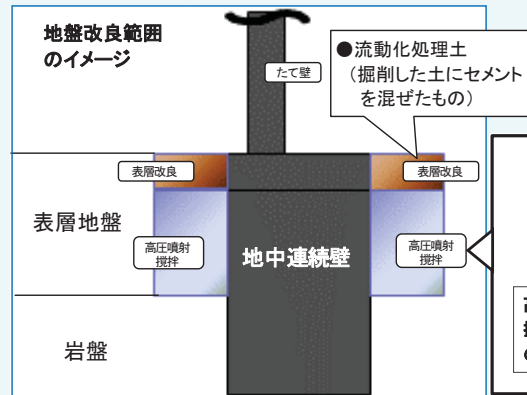
<地盤改良工事の様子>



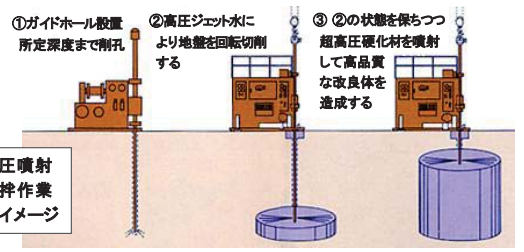
防波壁

工事箇所

地盤改良範囲のイメージ



●流動化処理土  
(掘削した土にセメントを混ぜたもの)



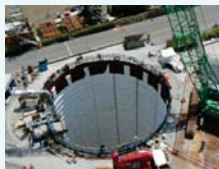
高圧噴射攪拌作業のイメージ

### ■フィルタベント設備設置工事

- ・4号機フィルタベント室本体工事および配管トンネルの工事を進めています。
- ・3号機フィルタベント室の掘削工事を進めています。



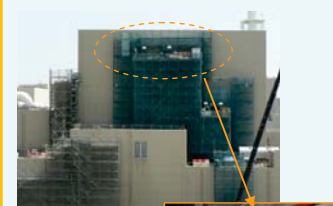
4号機  
フィルタベント室  
本体工事の様子



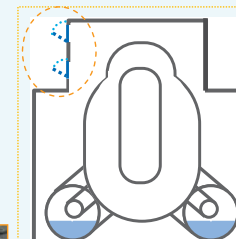
3号機  
フィルタベント室  
掘削工事の様子

### ■建屋ベント設備設置工事

- ・3, 4号機原子炉建屋の建屋ベント設備設置工事を進めており、3号機では、原子炉建屋壁部の吸排気パネル部分の工事を開始しました。



3号機原子炉建屋の  
ベント設備設置工事



建屋ベント吸排気パネルのイメージ

### ■高台工事(海拔40m:ガスタービン発電機建屋等)

- ◆電源盤を設置する建屋のケーブル布設工事等を進めています。
- ◆ガスタービン発電機建屋の耐震性強化(建物の揺れを減衰させるオイルダンパーを設置)のための準備工事(建屋周辺掘削工事)を進めています。
- ◆ガスタービン発電機の地下燃料タンク現場では、燃料タンクを納める部屋の天井の仕上げ工事を進めています。



4月28日撮影

### ■高台工事(海拔30m:地下水槽設置工事)

- ◆地下水槽および送水トンネル工事を進めています。



4月28日撮影



地下水槽  
コンクリート  
打設工事  
(4/23)

<地下水槽から送水のイメージ>



海拔30m  
地下水槽  
送水トンネル  
海拔6m

## <<訓練等のソフト対策>>

### ■3号機 非常用ディーゼル発電機の燃料移送訓練を実施(4月24日)

◆非常用ディーゼル発電機に燃料を供給するためのポンプが被災により使用できなくなった場合を想定し、仮設のホースとエンジンポンプを使用して、屋外の軽油タンクから原子炉建屋内のタンクに燃料を移送するための訓練を行った。

#### ◆訓練内容

- 移送に係る手順書の読み合わせにより作業内容の確認
- エンジンポンプの起動操作訓練
- 原子炉建屋内のタンク接続口の構造確認および取扱訓練
- 原子炉建屋内におけるホースの敷設ルート確認および接続訓練



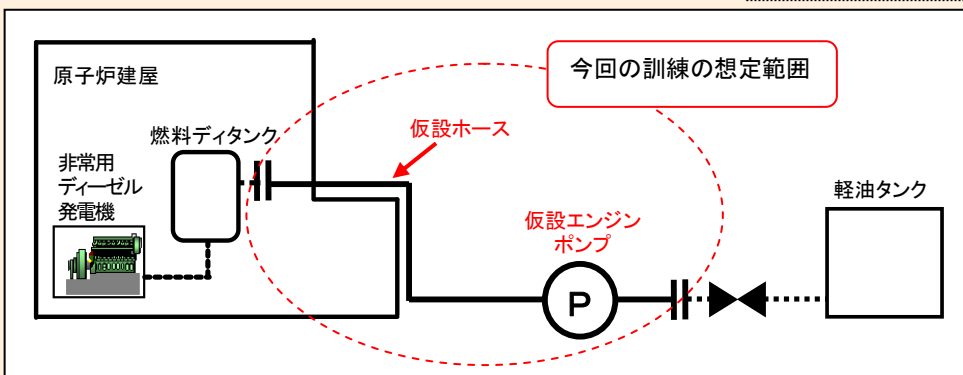
エンジンポンプの起動操作訓練



原子炉建屋内のタンク接続口の構造確認および取扱訓練



原子炉建屋内におけるホースの敷設ルート確認および接続訓練



燃料移送訓練のイメージ

### ■携帯電話メール(モバイルi-Call)を用いた、一斉呼出訓練の実施

◆災害対策要員が災害発生時に参集できることを確認するとともに、災害対策要員の危機管理意識の向上を図るため、携帯電話メール(モバイルi-Call)を用いた、一斉呼出訓練を実施しています。

#### ◆訓練内容

- 災害対策要員に対し、訓練日時の事前連絡をしないでメール送信を行い、応答結果を集約します。
- 災害対策要員は、メールの内容を確認し、応答操作を行います。

#### <確認項目>

- ・受信の確認
- ・出社時間の目安
- ・現在地

◆訓練は、毎月1回程度の頻度で実施しており、危機管理意識向上を図っています。



### ■静岡県および御前崎市による津波対策工事の点検および確認について

- ◆4月24日、当社が実施している津波対策工事について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けました。
- ◆当日は、防波壁嵩上げ工事のうち、一般部の壁部(継壁)およびたて壁の下部補強部について点検を受けました。
- ◆静岡県から、「点検の結果は基準を満足しており、問題ありませんでした。今後も安全に留意して工事を進めていただきたい。」との講評をいただきました。
- ◆御前崎市から、「今後も安全第一で確実に工事を進めて、市民の安心と信頼を確保することに尽力していただきたい。」との講評をいただきました。



一般部たて壁下部補強部点検の様子



一般部壁部(継壁)点検の様子

## <<新規基準への適合性申請の国による審査状況について>>

■4月は審査会合<sup>※1</sup>は開催されませんでした。

面談<sup>※2</sup>については、4月に3回実施されています。

※1 審査会合:担当委員出席の下、申請書等の審査が公開で行われます。

(一般傍聴およびネット中継により公開。資料は原子力規制委員会HPにて公開)

※2 面談:審査会合に加え、申請書の記載内容に関する事実確認等を実施するため、面談(ヒアリング)が適宜実施されます。(議事概要および資料は原子力規制委員会HPにて公開)

詳細は原子力規制委員会HPを参照ください

<[http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/tekigousei/power\\_plants.html](http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/tekigousei/power_plants.html)>

### ◆浜岡原子力発電所従事者数

(津波対策工事従事者以外を含む):4月1日現在3,553名

[うち、御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市在住:2,354名(66%)]

#### <参考>

定期検査のない期間の平均従事者数:2,600名程度

(3・4・5号全号機運転期間中)

